

第24回 水俣・芦北地域雇用創造協議会総会（議事録）

1 日時:3月29日(月)10:00~11:00

2 場所:熊本県農業共済組合 芦北出張所

3 出席者会員（構成団体24団体中22団体出席）

社会福祉法人水俣市社会福祉協議会	事務局長	山口 圭輔
社会福祉法人芦北町社会福祉協議会	会長	内山 忠美
社会福祉法人津奈木町社会福祉協議会	会長	山田 豊隆
一般社団法人水俣市芦北郡医師会	事務局長	吉田 順一
水俣商工会議所水俣商工会議所	会頭	濱田 憲治
芦北町商工会	副会長	林田 耀宏
津奈木町商工会	経営指導員	田川 竜一
水俣芦北地域観光推進協議会	会長	濱田 憲治
一般社団法人みなまた観光物産協会	事務局長	西川 博文
芦北町観光協会	会長	田中 正一
水俣・芦北地域教育旅行および 視察研修受入促進協議会	代表	森山 亜矢子
水俣市漁業協同組合	代表理事組合長	前田 和昭
芦北町漁業協同組合	代表理事組合長	山元 光晴
津奈木漁業協同組合		宮山 徹
一般社団法人熊本県建設業協会芦北支部	副支部長	平生 勝治
株式会社肥後銀行水俣支店	支店長	梅田 浩平
水俣市	市長	高岡 利治
芦北町	町長	竹崎 一成
津奈木町	町長	山田 豊隆
熊本県県南広域本部芦北地域振興局	局長	江藤 公俊
熊本県地域振興課	課長	池永 淳一
<オブザーバー>		
水俣公共職業安定所	所長	高崎 雅英

4 議事の経過の概要

(1)報告事項

報告第1号 令和2年度(2020年度)事業報告

報告第2号 水俣・芦北地域雇用創造協議会 これまでの活動成果

(2)議決事項

議案第1号 令和3年度(2021年度)事業実施計画(案)

議案第2号 令和3年度(2021年度)当初予算(案)

(3)その他

次回、総会開催時期について

5 議事録

【事務局】

ただ今から、第24回水俣・芦北地域雇用創造協議会総会を開催します。

私は、本日進行を務めます納です。よろしくお願いいたします。

まず、本総会の定足数についてですが、本日は、全会員数24名のうち出席者21名、全会員数の過半数の方に御出席いただきましたので、水俣・芦北地域雇用創造協議会規約第11条第1項の規定により、本日の総会は成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、本日の出席者のご紹介については、配付しております出席者名簿で代えさせていただきます。御確認をお願いします。

資料の確認です。

次第と書いてある資料、出席者の名簿、総会の資料という冊子と、規約が、お手元に配付してあると思いますけれども、不足等ございませんでしょうか、ご確認をお願いします。

それでは、開催に先立ちまして水俣・芦北地域雇用創造協議会会長江藤より御挨拶申し上げます。

【会長】

皆さまおはようございます。

本日は、年度末の大変お忙しい中に御出席いただき、感謝申し上げます。

また、日頃より当協議会の活動に対し、多大な御支援・御協力を賜り、お礼申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大や令和2年7月豪雨災害のため、昨年3月以降、3回にわたって協議会総会を书面開催とさせていただきましたが、感染拡大もやや落ち着きつつあることから、本日、皆様の御出席を得て、開催する運びとなりました。

また、会場も通常ですと振興局3階大会議室で行うところですが、災害対応増員のため改修中であり、快く会場をお貸しいただいた農業共済さんありがとうございます。

今年度は、当協議会が設立されてから10年が経ちまして、そして第六次水俣・芦北地域振興計画の最終年度となります。そこで本日は、「これまでの活動成果」を報告させていただくこととしております。

平成23年度からの第五次計画から撒いてきた雇用創造の種が少しずつ芽を吹き、花を咲かせつつあるのではないかと感じております。

これもひとえに皆様方のご協力によるものと重ねて感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、昨年8月には、第七次の振興計画が策定されました。

この計画で、当協議会の活動は、基本施策の1番目(1)「水俣・芦北地域への「流れ」の拡大」の中の1番目「(1)地域産業の更なる振興」に係る取組みとして位置づけられています。

本日はお手元の次第のとおり、報告事項として、令和2年度の業務報告、これまでの活動成果について、それから、議決事項として、令和3年度事業実施計画(案)と当初予算(案)についての御審議をお願いいたします。

新しい生活様式を踏まえまして、本日の総会におきましては、効率的な議事運営を図り、1時間程度で終了するよう努めたいと思っておりますので、

円滑な議事運行につきまして、御協力賜りますよう、よろしくお願いいたしますしまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは議事に入ります。

水俣・芦北地域雇用創造協議会規約第8条第2項により「総会の議長は、会長が務める」こととなっておりますので、ここからの進行は江藤会長にお願いします。

【会長】

それでは、議長を務めさせていただきます。

議事に入る前に、本日の議事録署名人を、水俣商工会議所 濱田会頭、芦北町漁業協同組合 山元代表理事組合長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って議事に入ります。

まずは、「次第3議事（1）報告事項」からです。

【会長】

報告第1号「令和2年度事業報告」、報告第2号「水俣・芦北地域雇用創造協議会これまでの活動成果」について、事務局から一括して説明します。

【事務局】

事務局の納です。私の方から説明させていただきます。

着座にて失礼いたします。報告第1号令和2年度事業報告からご説明いたします。

資料の4ページをお願いいたします。今年度は、第六次水俣・芦北地域振興計画の基本理念である「環境と経済の好循環を実現し、「地域の活力と新しい豊かさ」を生み出す地域社会づくり」の実現に向けて、地域経済の活性化や雇用機会の創出効果を高める事業を実施いたしました。

また、令和2年7月豪雨災害により被災した事業者の当面の収益確保や、地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興に向けた取り組みを行いました。

具体的な取り組み内容は、10ページからのカラーの資料でご説明いたします。10ページをお願いいたします。

今年度は、昨年度からの継続事業といたしまして、1から6までの事業を実施いたしました。加えて、令和2年7月豪雨災害に係る県の補助金4千万円を活用して、7の被災地域産業再興支援事業を実施いたしました。

1から6の事業については、報告第2号のこれまでの活動成果でもご報告しますので、今年度の特筆すべき取組みに絞って、説明させていただきます。

次は15ページをお願いいたします。地域産品のブランディング・販路開拓についてです。11月に、老舗料亭のなだ万の全国のレストランと惣菜店で開催されました「熊本県フェア」にあたって、当時の食材の提案と提供を実施いたしました。提供した食材は、久木野の棚田米、アオサ、でこぼんジュースです。また、2月の1日から14日まで、JR博多駅のレストラン街「くうてん」において、「水俣・芦北フェア」を実施しました。15店舗で、当地域の食材8品目を使った16のメニューを考案していただきまして、

食材の提供を当地域から行いました。新型コロナの緊急事態宣言中の開催でしたので、食数については限定的なところもございましたけれども、レストランの方からは高い評価をいただいた食材もありました。今後の継続取引につなげていきたいというふうに考えております。

次は19ページをお願いいたします。水俣・芦北観光応援社事業についてです。今年度は、新型コロナの影響により、観光関係の取組みは非常に難しい状況にありましたが、新たな観光の形となるオンラインツアーを3回実施いたしました。実際のオンラインツアーでは、訪問が困難な果樹園地などでの収穫体験や加工体験を、事前に送っていただいた食材などを使って、参加者も一緒に体験するような仕掛けで行いました。各回とも、参加者からは「また参加したい。」とか、「今度は現地に行ってみたい。」と、大変好評をいただいております。

次のページをお願いいたします。今度はリアルツアーとして、この地域の観光の課題でもある、二次交通の解決に繋がるようなモニターツアーを試験的に行いました。新幹線で、新八代駅や新水俣駅まで来訪する観光客をターゲットに、地域のバス事業者を活用した新たなバスツアーの旅行商品化に向けたモニターツアーを3月に2回実施いたしました。こちらも参加者からは好評をいただいております。

次は25ページをお願いいたします。被災地域産業再興支援事業についてです。令和2年7月豪雨で被災した事業者の当面の収益確保や、地域一体となった賑わい創出など、地域産業の再興を総合的に後押しするような事業を実施いたしました。特に被害の大きかった芦北町の事業所さんへの支援を中心に実施いたしました。まず生産者・加工業者支援として、被災した事業者の新たな商品・パッケージ開発を4件支援いたしました。それぞれの商品の今後の販売促進にあたって、引き続き支援していく予定でございます。

次のページをお願いいたします。ECサイトを活用した地域製品の販路拡大です。「あっと！アシキタ復興オンラインショップ」を開設し、送料や代引手数料を負担することで、地域産品を全国各地へ販売することができました。全国から2千件以上の申し込みがあり、各生産者の収入確保につながったのではないかと考えております。

次のページをお願いします。熊本都市圏での地域製品の販売促進です。サクラマチクマモトで3ヶ月間の委託販売、道の駅植木で2日間の対面販売会を実施いたしました。大々的なイベントを実施することが困難な状況の中、一定の収益確保に繋がったのではないかと考えております。

次のページをお願いいたします。物産館・道の駅支援として、熊本都市圏や八代・宇城地域の情報誌に、毎月、地域の特産品や物産館・道の駅の情報を発信いたしました。

次のページをお願いいたします。物産館を活用した地域産品送料無料キャンペーンです。地域の物産館・道の駅5施設で、11月から12月にかけてと、1月から2月にかけての2回実施しました。反響が非常に大きくて、前年同時期と比べて、1割から2割の売上増となった施設もございました。地域産品の消費拡大、生産者の収入確保、物産館・道の駅の収入増に繋がったのではないかと考えております。

次のページをお願いいたします。飲食店に対する支援でございます。この地域の夏の恒例イベントである、「芦北伽哩街道」が、コロナと豪雨災害の影響により、昨年度実施できなかったことから、参加店舗の収入確保のため

、新商品開発を支援しました。6店舗のカレーを冷凍カレーとして商品化されました。今後、物産会や通販での販売、ふるさと納税の返礼品の登録などに向けて、引き続きご協力していく予定です。

次のページをお願いします。「放課後ていぼう日誌」に関連した新メニュー開発についてです。芦北町が物語の舞台となっている「放課後ていぼう日誌」に登場するメニューや地域の特産である地魚を使ったメニューを「放課後ていぼう日誌コラボメニュー」として19店舗でメニュー開発されました。今後これらのメニューを食べたアニメファンなどに、ノベルティグッズを配布することも予定しております。芦北町、芦北町観光協会様とご協力して、PR活動なども進めていきたいと思っております。

次のページをお願いします。旅館業支援についてです。芦北町内の旅館は大きな被害を受けて、いまだに再開できない状況が続いております。そのような中で、宿泊客のコース料理の一つとして提供されていた太刀魚料理を特産品にできないか、と「不知火太刀かぐや巻き」というブランドで商品化されました。現在、芦北のカキ小屋や道の駅などでテスト販売をされております。併せて、通信販売向けの商品も開発中です。今後の販売促進などに、引き続き、ご協力していく予定です。

以上が、今年度の主な事業報告です。

続きまして、報告第2号、水俣・芦北地域雇用創造協議会これまでの活動成果についてご説明いたします。

34ページをお願いします。当協議会は、平成23年度から27年度の第五次水俣・芦北地域振興計画に合わせて設立されました。第五次期間中の成果と、28年度から今年度までの第六次期間中の成果を対比してまとめております。

次のページをお願いいたします。まずは、環境配慮型農産物実証栽培についてです。第五次計画で、建設業の農業参入としてスタートしたアボカドの実証栽培ですが、専門家による栽培指導を継続して実施し、昨年度、津奈木産のアボカドが160個、今年度、水俣産が130個、初出荷することができました。大手のECサイトで高値で販売され、完売という結果になっております。また今年度津奈木町においては、「熱帯果樹振興協議会」が設立され、アボカドの産地化・ブランド化への動きが広がってきております。

次のページをお願いいたします。水産物ブランド化についてです。平成24年度から、マガキの試験養殖・カキ小屋運営を、まずは水俣市と芦北町の漁協で開始されました。その後、津奈木漁協でも取り組みを開始し、昨年度の生産量は合計21トンとなり、これまでの最高記録を更新したところです。今年度は、水害の影響により、昨年度の3分の1程度の生産量の見込みとなっております。また、平成26年12月から、「水俣漁師市」が毎月第2土曜日に開催されており、この開催の企画・運営に関して、水俣市漁協と連携して行いました。平成29年4月の芦北うたせ直売食堂「えび庵」開業及び営業にあたって、アドバイザーの指導のもと、飲食メニューの開発やブランディングを行いました。

次のページをお願いします。和紅茶ブランディングについてです。以前から、地域の和紅茶生産者4者で連携して展示商談会や物産展に出展していましたが、第六次計画からは「みなまた和紅茶四天王」として出展したり、飲み比べセットを販売したり、戦略的に販路拡大に取り組んでおります。また、平成29年度から毎年水俣市で和紅茶サミットを開催し、この地域が和紅

茶の産地としてのブランド化や発信力強化に繋がっております。

次のページお願いいたします。地域産品を活用した商品開発、販売促進についてです。第五次計画から、引き続き、年間5件程度の新商品開発を支援しております。第六次計画からは、大手のECサイトとの繋がりができましたので、そのサイトを活用して販売先が大きく広がっております。

次のページをお願いいたします。着地型観光の新たな旅行商品化についてです。第五次計画においては、学習塾向けの体験学習プランなどの商品化を行いました。第六次計画においては、令和元年度から観光うたせ船の定時便運行を開始いたしました。また、インバウンド誘客に向けてのテストツアーなどを重ね、令和元年度には、台湾から200人以上の観光客が来訪いたしました。

次のページお願いいたします。地元林産材の販路拡大についてです。第六次計画時からの取組みになります。地元の製材所や大工さん、建築士さんなどが、会員となっている木魅会を核とした取組みを進めております。1つ目は、「和室」というものが海外で人気ですので、「和室」という形で、林産材を輸出していこうという取り組みでございます。中国のショッピングモールや、福岡の国際観光施設に展示品を施工しました。2つ目は、昨年12月に開設された芦北町総合コミュニティセンター内の、木のおもちゃ広場のおもちゃの試作や今後のPRに向けてカタログ製作を行いました。

以上、これまでの活動成果でございます。

【会長】

ただ今の説明について、御意見・御質問はないでしょうか。

意見・質問等なし

この事業報告については、新年度になり、例年どおりであれば7月に開催する総会で、決算報告とともに再度報告をさせていただく予定にしております。

ないようでしたら、

次に、「次第3(2)議決事項」に移ります。

議案第1号「令和3年度事業実施計画(案)」、議案第2号「令和3年度当初予算(案)」について、事務局から一括して説明します。

【事務局】

議案第1号、令和3年度事業実施計画案でございます。

44ページをお願いいたします。

令和3年度は、第七次水俣・芦北地域振興計画の基本施策1「水俣・芦北地域への「流れ」の拡大」に基づき、これまで取り組んできた産業振興による地域活性化の流れを更に強化していくこととしております。引き続き、環境配慮型農業の推進、和紅茶、マガキ、林産材をはじめとする地域産品のブランド力の強化、観光素材の磨き上げなどを図り、各種展示商談会への出展等により販路拡大を行っていきたく思っております。具体的な取組みにつきましては、基本的には今年度の取組みを継続し、取組みを強化していくということにしておりますので、詳細の説明は、割愛させていただきたい

と思います。

次に、議案第2号、令和3年度当初予算です。

49ページをお願いいたします。

まず上段の収入の部です。

当協議会の予算は、県からの負担金を主な原資としております。今般の新型コロナウイルス対策や豪雨災害の復旧・復興対策のため、県財政も非常に厳しく、県からの負担金は約2割減ということとなっております。令和2年度は各市町から負担金をいただいておりますが、こちらは令和2年度限りとの約束でしたので、令和3年度はゼロということになっております。令和2年度当初予算で計上しておりました「くまもつと観光地域応援社発展事業」の補助金については、今年度の被災地域産業復興支援事業費補助金の交付を受けたことにより実施が困難になったことから、一番右の参考の欄に示しておりますとおり、昨年11月にそれぞれ3百万円の減額と4千万円の増額の補正予算を組ませていただき、ご了承いただいたところでございます。令和2年度の被災地域産業復興支援事業費補助金については、令和3年度がどのような形で実施されるか、今の時点で未定のため、当初予算では計上しておりません。以上のことから、令和3年度当初予算は、前年度当初予算から19,234千円減の46,952千円を計上しております。

次に支出の部です。

事業費の1から6までの各事業について、収入の範囲内で必要な経費を計上しております。7の被災地域産業復興支援事業は、先ほどと同様の理由により計上しておりません。支出の計も、前年度当初予算から19,234千円の減の46,952千円を計上しております。

以上ご承認、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

【会長】

ただ今の説明について、御意見・御質問はないでしょうか。

【竹崎町長】

「被災地域産業復興支援事業」の会計区分は、7月豪雨の後か。

豪雨の後ということであれば、補正対応だったのか教えて欲しい。

【事務局】

はい。11月に書面で補正予算をお願いして、承認いただきました。

【竹崎町長】

それは、令和2年度限りの約束だったのか。先ほどの説明にあった約束とは別のものか教えて欲しい。

【事務局】

約束と申し上げたのは、市・町から負担金として50万ずついただいた分です。「被災地域支援」に関しては、県から補助金を受けて4,000万円で事業を実施しました。

【竹崎町長】

雇用創造協議会には、今、あらゆる分野で体力に応じた支援をしていただいている。

雇用創造協議会が発足して10年。当初の期待より、相当成果を上げている。特に、県が単独で予算を作っていただいて、県の持っている発信力やブランドを強化していく支援など様々な面で効果があっていると思う。

10年前、もし雇用創造がなかったとしたら、この水俣・芦北地域はもっと沈んでいたのではないかと。あるいは、元気がなかったのではないかと。重ねてになるが、この雇用創造協議会は、当初の期待以上に成果を上げている。そこで継続してほしい。今回、大変な豪雨災害に見舞われた。それぞれの自治体でカバーできないところをこれまでも、力を出していただいている。雇用創造協議会が水俣・芦北地域に寄り添うという形になっている。ここが一番いい予算になっているのかなと思う。これが階級的に増えていくということではなくて、少々落ち着きを取り戻したとなるまでには時間がかかるかもしれないが、少しでもそのような雰囲気になるまで引き続き実施した方がいいと思う。議会も終わっているので今後の課題としてご提言申し上げる。

雇用創造協議会も、時限立法な期限付きのスタートであった。本当にありがたいと思っている。

各分野の方も各自治体で専念できないこともあるが、協議会はかなり弾力的に受け入れてくれるので、ありがたい。

【会長】

竹崎町長からのお褒めの言葉、ありがとうございます。被災地支援の項目出しは今後どうするか詰めさせていただき、当初はこれで承認いただければと思います。

これからも1市2町の皆さまにご意見いただきながら、そしてお集りの皆さま方の所に出入りさせていただきまして、汗をかいてまいろうと考えております。引き続き、雇用創造協議会をよろしく申し上げます。

他にございませんでしょうか。

【事務局長】

竹崎町長からの貴重なご意見ありがとうございます。

本年度については、コロナ・災害によって協議会の本来の仕事、年度当初に予定していた事業ができなかったものがたくさんあります。

ただ、災害復旧・復興ということで少しでも皆さまのお役に立てたらということで、県から予算があり、4,000万円の補正を皆様のご了解をいただいた上で、いろいろな復旧・復興の事業等に取り組んできました。

本年度中で復旧・復興が終わってしまうということではなく、来年度以降も復旧・復興の取組みを考えていかないといけないし、県の方でもいろいろなご支援を考えております。ただ、今の時点で今年と同じような形で丸々協議会に4,000万円補助金を出してというような形になるか、決まっていないようです。いろいろな形態を踏まえた上で、皆様が取組みを必要とされる時には、ご意見をいただきながら取り組んで参りたいと思っております。

予算事業についても、去年と同じ事をやる訳ではなく、同じ取組みでも発

展させたり、皆様のご意見をいただきながら新しい取組みも積極的に実施していきたいと思っております。ぜひ、皆様方のご意見をいただきたいと思っておりますので、次年度もよろしくお願いいたします。

【会長】

他に、質問・ご意見ありませんでしょうか。

ないようでしたら、議案第1号及び第2号については、御承認をいただいたということによろしいでしょうか。

異議なし

ありがとうございます。

それでは、次に、「次第3（3）その他」に移ります。

事務局から説明をお願いします。

【事務局】

次回、協議会総会の日程についてです。

例年ですと、7月下旬に総会を行って前年度の決算と補正があれば補正予算の提案をしております。来年度についても、同様の流れで開催させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【会長】

よろしいでしょうか。

では、次回、7月に開催するということで調整させていただきます。

よろしくお願いいたします。

最後にまとめて、皆様から何かご意見等ございませんでしょうか。

【水俣・芦北地域教育旅行および視察研修受入促進協議会 森山代表】

今年で10年目ということで、当初から参加させていただき、ご意見させていただいているのが、女性の出席率です。充て職にすると男性ばかりという現状のままなので、随行してもらう等女性の参加を増やすようなことをやらないと、熊本県のイベントを見るたびに男性陣ばかりが黒いスーツを着てイベントをやっている状態が続いています。何か工夫ができないか。改めて今回も提案させてもらいます。

【会長】

ご意見の趣旨は分かりました。本日お集りいただいたメンバーを見てもらうと管内の各団体のトップは名簿のとおり。当協議会でなかなか難しいが、いろんなアイデアが大事だと思うので女性に随行をお願いする等呼びかけていきたいと思えます。

【芦北町観光協会 田中会長】

この報告書の32ページにある「不知火太刀かぐや巻」というのは、うちの商品です。今回、ご支援いただきまして旅館の再開に向けて道の駅で販売

をしております。またECサイトで販売できるように再春館で賞味期限のテストも行っております。生の状態では菌はなく、冷凍庫で3ヶ月保存して確認します。保健所にも相談してECサイトで販売する許可を得たところです。

ただ、芦北町の水産加工所で作らせてもらっているの、販売者が「芦北町川内水面漁業組合」で売るとなると思っています。このような形でご支援いただいています。今回の資料の写真では植木に行かせてもらい、1本税込み1,000円で、2日間で132本売らせていただきました。

この場を借りて、お礼申し上げます。

週末は、道の駅たのうらで定期的に販売しています。

【会長】

他に、何かございませんでしょうか。ないようでしたら、

この4月の人事異動で、まだ内示ではありますが、事務局職員に異動がありましたので、一言、御挨拶申し上げます。

《転出》

それでは、まず

事務局長 原田 淳子 振興局 次長

(あいさつ)

事務局次長 上野 成也 振興局 総務振興課長

(あいさつ)

芦北町 林田 勇 (はやしだ いさむ)

(あいさつ)

ありがとうございました。


それでは、これもちまして「第24回 水俣・芦北地域雇用創造協議会総会」を終了いたします。

本日は、ありがとうございました。


この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人において次に署名押印する。

令和3年(2021年)5月6日

議長

江藤公俊 

議事録署名人

濱田憲治 

議事録署名人

山元光晴 